

3. 都市化の進展と大衆文化

第一次世界大戦後は、(資本)主義の発達にともない、国民の生活が大きく変わっていきました。

- 都市部では電気・ガス・水道が普及した。
- (ラジオ)放送が始まり、大衆の娯楽として普及した
- 街には無声の活動写真(映画)を上映する劇場が多く建てられ、やがてトーキー(有声映画)となった。
- 東京や大阪には(鉄筋コンクリート)のビルが立ち並び、デパートが誕生し、バスが運行するなど近代都市へ変貌した。
- 食生活ではカレーライス、とんカツ、などの洋食やキャラメル・ビスケット、ケーキなどが庶民生活の中に溶けこんでいった。
- (義務)教育の普及や中等学校への進学上昇を背景に、新聞や雑誌の普及率が増加した。

そんな楽しい空気を一気に吹き飛ばす出来事が!!

1923年9月1日 関東大震災 が発生した。

東京の下町や横浜が甚大な被害を受けました。

この震災直後、デマが原因で日本人自警団が多数の朝鮮人を虐殺したといわれているが、この言合には虚偽が含まれています。一部の朝鮮人が殺人、暴行、放火、略奪を行ったことは事実であり、警察記録もあり、新聞記事に於いた事件も多数あります。中には震災に乗じたテロリストグループによる犯行もあったそうです。